

オタネニンジン新品種「かいしゅうさん」

福島県農業試験場会津支場
平成元～9年度春夏作試験成績概
要
分類コード 06-04-03000000
部門名 特用作物ーオタネニンジンー
選抜

I 新技術の解説

1 要旨

- (1)「かいしゅうさん」は、昭和44年に福島県園芸試験場会津試験地において、福島県会津地域で栽培されていた「会津在来種」の中から収集した優良株より選抜され、その後、平成元年より福島県農業試験場会津支場に移管され、育成された系統である。
- (2)出芽は、「会津在来種」より4日、「みまき」より5日早く、地上部の生育は、「会津在来種」より優り、「みまき」よりやや優る。
- (3)病害虫抵抗性は、「会津在来種」、「みまき」と同程度の「中」であるが、収穫時の株の生存率は高い。
- (4)収量性は、「会津在来種」、「みまき」とほぼ同程度である。
- (5)1根重は、「会津在来種」よりやや軽く、主根径も「会津在来種」よりやや細いが、主根長は「会津在来種」よりやや長く、土根形状は、「会津在来種」より優る。
- (6)紅蔘に加工したときの品質は、「会津在来種」、「みまき」より優る。

2 期待される効果

- (1)地上部の生育が優り、収穫時の株の生存率も高いことから、安定生産が期待される。
- (2)土根形状、加工特性に優れていることから、製品の高品質化が期待される。

3 適応範囲

会津地域

4 普及上の留意点

- (1)出芽は「会津在来種」、「みまき」より4～5日早いことから、日覆の設置時期に注意し、日焼けや霜害にあわないようにする。
- (2)栽培法は、慣行の栽培法に準じる。

II 具体的データ

表1 「かいしゅうさん」の品種特性

系統名	かいしゅうさん		来歴	会津在来種
特性	長所 1 地上部の生育が優る 2 土根形状が優る 3 加工特性が高い		短所 1 根重がやや軽い	
系統名・品種名	かいしゅうさん	みまき	会津在来種	調査年次
出芽期 (月日)	4.13	4.18	4.17	昭和61年～平成元年
草 高 (cm)	71	66	60	平成8年(5年生)
茎 長 (cm)	43	40	35	〃
茎 径 (mm)	7.5	6.5	6.5	〃
茎 色	淡紫	淡紫	緑～淡紫	〃
掌状複葉数	5～6	5～6	5～6	〃
小葉数 (枚)	27.2	26.0	25.8	〃
小葉形(先端)	鋭	鋭	鋭	〃
小葉形(葉脚)	やや漸先	楔形	楔形	〃
小葉長 (cm)	15.9	14.5	14.5	〃
小葉幅 (cm)	6.7	6.8	6.8	〃
葉柄長 (cm)	10.0	8.4	8.4	〃
花柄長 (cm)	28	26	25	〃
果実形	双球形	双球形	双球形	平成8年(5年生)
果実色	赤	赤	赤	〃
種子形	偏平	偏平	偏平	平成8年(5年生)
百粒重 (g)	4.2	4.3	3.9	〃
胴割 (%)	12.0(6.4)	6.0(3.6)	34.8(22.1)	昭和62年～平成元年
赤サビ (%)	39.6(9.5)	48.3(12.8)	28.0(9.7)	〃

根の障害	根腐れ (%)	18.8(6.8)	17.7(5.2)	17.0(4.7)	〃
	根こぶ (%)	16.1(4.7)	28.6(6.8)	24.7(6.7)	〃
収穫率 (%)		73	70	71	昭和62年～平成元年
土根収量 (kg/a)		78.9	80.2	76.5	〃
1根重 (g)		86.7	88.2	94.6	〃
主根長 (cm)		7.7	7.8	7.2	〃
主根径 (cm)		2.9	3.0	3.1	〃
主根色		淡黄白	淡黄白	淡黄白	〃
紅蔘等級(1～2等%)		35.2	24.5	17.5	平成8年(5年生)
乾物率 (%)		34	33	33	〃
エキス含量(生根%)		36.9	37.6	37.2	〃
ジンセノサイドRg1		有	有	有	〃

注1)試験場所は、昭和61～平成元年までは福島県果樹試験場会津試験地(会津高田町)、平成8年は福島県農業試験場会津支場(会津坂下町)。

注2)根の障害の数値は、発生根率 ()内の数値は発生度(Σ (発生程度×株数)/調査株数×100)

発生程度 0:無～5:甚

Ⅲ その他

- 主な参考文献・資料: (1)昭和44～63年度果樹試験場業務報告
(2)平成元～9年度春夏作試験成績概要(農試会津支場)